

福祉 みやぎ

5 2017
月号

vol.591

「将来の夢」

■ 涌谷町立さくらんぼこども園

■ 作者：平成28年度修了児37名

これから小学校へ旅立っていく子どもたちが将来の夢を抱き、今後の学校生活でたくさんのことを学んで欲しいと思いを入れて、制作しました。



CONTENTS

(主な内容)

P2 特集

10年後の宮城県に備えて
～今、求められる人『交』密度のまちづくり～

P4 Heart&Works

みやぎセルフ協働受注センター

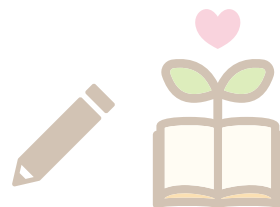
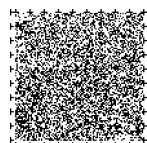
P6 平成29年度事業計画

P9 平成29年度当初予算

P10 キラリ☆仕事人

P11 県社協掲示板

P12 宮城県社会福祉協議会の 連絡先一覧



10年後の宮城県に備えて

「今、求められる人『交』密度のまちづくり」

「I-HOE」人と組織と地球のための国際研究所 代表者 川北 秀人

現代の地域福祉において、社会活動の担い手や財源などの課題は多様化・複雑化し、今後さらに厳しい現実
に直面することが予測されます。地域の力がより試される時代で、誰もがそれぞれの地域で暮らしていくため、
持続していける地域やその土壌をいかに構築していくかを考えていくことが求められています。
今回の特集では、平成29年2月に開催された「みやぎ地域福祉フォーラム」にコーディネーターとして参加
していただいた、「I-HOE」人と組織と地球のための国際研究所」代表の川北秀人さまよりご講演いただいた
内容を紹介します。

市民活動の支援を始めて20年以上
経ち、宮城県内各地に何度もお邪魔
させていただいておりました。目の
前の様子は変わっていないように感
じられても、地域はどんどん変わっ
ていきます。残念ながら宮城県内では
そんな時代の変化や、求められる取
組みへのご理解が進んでいないよう
に見受けられます。

「元気がいい」とか「力がある」
と言われる地域は、なにが違うので
しょうか。私は、人口密度、つまり、
人の数の問題ではなく、人『交』密
度、人と人の交わりの密度が高い

か低いかだと感じます。人口が減り
続けていても、お互いのことをよく
知っている、困ったときには周囲に
相談し支えてもらうことのできる関
係がある地域では、人の数は少ない
かもしれませんが、安心水準が高い。
「ここは元気だ」と言われる地域の
方にお話を伺うと、その地域が好き
で住み続けていらっしやる方々が、
地域の未来のために本当に大切なこ
とを実現できるよう、出し惜しみし
ない・できないふりをしない・あき
らめない・誰かがどうにかしてく
れる」なんて甘えない…ということ
がよく伝わってきます。皆さんの地

域はどうでしょうか。安心・安全な
生活を築くためには、人と人の交
わりの密度を普段からいかに高めて
おくかが大切ですね。

地域に求められる
「居場所」と「出番」

阪神・淡路大震災のとき、避難所
から仮設住宅に移られた方々の中
で「孤独死」という問題が浮き彫りに
なりました。特に男性の孤独死者数
は、女性の3倍にのぼります。避難
所での生活には間仕切りしかないた
め、お互いに「世話焼き」や「おせ
つかい」ができました。しかし、仮

設住宅に入ると壁が
あり、プライバシー
ができてしまう。結
果として、プライバ
シーは守れても、孤独死を生んでし
まう、ということが起きていました。
そこで黒田裕子さんや中村順子さん
たちが「地域には、居場所と出番が
大切」とおっしゃった。「居場所」
とは東北で言う「お茶っこ」です。
しかし、みんなで集まってお茶を飲
み、会話を楽しむ「お茶っこ」に女
性のみなさんは集まってくださりま
すが、男性は来ない。そこで必要
なのが「出番」です。蛍光灯を取り換
えるとか、段差の解消をしてもらう
とか、「おじいちゃんかっこいい！」
と言ってもらえる役割と環境を作る
ことが、男性を引きこもりにさせな
いコツですね。

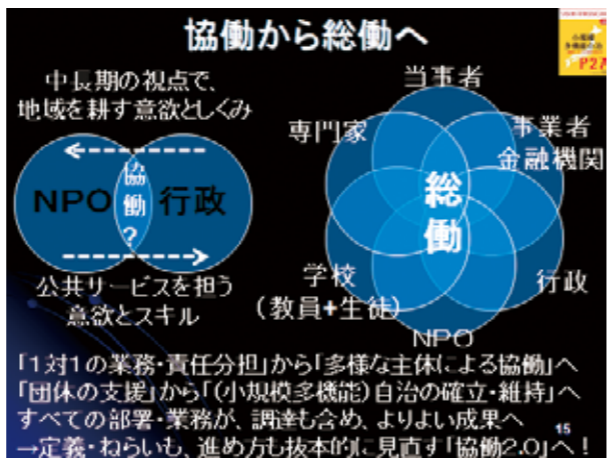
総力を挙げて
地域を守り抜く！

これからの地域づくりは、「地域
をどう守り抜くか」を考えざるを得
ません。気仙沼市を例に挙げると、
高齢化率は全国平均より40年も早
い。みなさんが住んでいる地域は、
空も川も変わりません。ただ、人口
構成は変わっていきます。全国平均
より早いということは、国から言わ

2010年国勢	計	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-	85-
人数(千人)	29,484	8,272	7,018	5,992	4,376	2,454	1,029	342	3,825
介護+予防	3,968	170	318	620	969	1,004	620	268	1,882
人口比	13.5%	2.1%	4.5%	10.3%	16.8%	30.3%	51.5%	23.4%	
総数比	(100)	4.3%	8.0%	15.4%	25.4%	24.5%	18.7%	10.8%	53.9%
要介護3+	1,661	63	121	226	351	407	331	176	895
人口比	5.6%	0.8%	1.7%	3.8%	8.0%	16.8%	30.3%	51.5%	23.4%
総数比	(100)	4.1%	7.3%	13.6%	21.1%	24.5%	18.7%	10.8%	53.9%
2014年	33,421	9,583	7,672	6,270	4,949	3,106	1,385	453	4,945
介護+予防	5,917	266	485	861	1,437	1,556	1,309	2,865	
人口比	17.9%	2.9%	6.1%	13.8%	29.5%	50.4%	73.9%	59.0%	
要介護3+	2,064	87	148	249	419	525	634	1,159	
人口比	6.2%	1.0%	1.9%	4.0%	8.6%	17.0%	35.8%	23.9%	
総数比	17.9%	2.9%	6.1%	13.8%	29.5%	50.4%	73.9%	59.0%	
2025年	36,573	7,072	7,716	8,397	6,027	4,057	2,290	1,007	7,362
介護+予防	2,283	67	144	335	519	690	1,183	1,756	

宮城県内のほとんどの市町村の高
齢化率は、全国平均を上回っていま
す。だからこそ、宮城県には、全国
の社会福祉をリードする存在になっ
ていただきたい。ですから、「やっ
たことがないからやらない」ではな
く、他所よりも進んでいる状況に対
応できるよう、「努力します」「進化
します」と、社会福祉に携わるみな
さまにはおっしゃっていただきたい
い。

これからの地域づくりには、協働
の深化・進化も不可欠です。北海道
のある地域では、冬の朝に中学生が
高齢世帯のゴミ捨てのお手伝いをし
ているそうです。学生も地域の一員
として地域づくりを担っているのだ
ですね。NPOや行政、福祉の専門家、
新聞配達の人や金融関係も、学生も
総力を挙げて地域を守っていくこと
が大切です。介護予防や健康づくり
は、もはや個人の課題ではなく、行
政も含め、地域ぐるみで進めていく
べき段階に入っています。



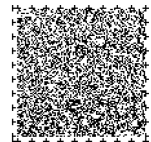
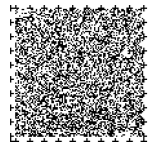
未来のための福祉教育

福祉教育の最大の目的は、わがま
ちの未来、つまり可能性と課題の中
で、どんな役割を果たしてもらいた
いかを教えることです。すでに各地
域で歴史的教育や、愛着形成を促す
取り組みは行われていますね。しかし、
いくらそのまに「住み続けたい」
と思っても、生きていくためには稼
ぎが必要ですし、また、稼ぎ手がい
なければ福祉も成り立ちません。歴
史だけでなく、可能性も課題も正確
に教え、「このまちでくらし続けたい」
働き続けたい」と思ったするために、

おわりに

福祉や医療の今後を見通せば、高齢
化が全国平均より進んでいる宮城県だ
からこそ、くらしの全体を通して、地
域の人々たちの交わりの密
度をどのように高めていけ
るか、守っていけるかを考
え、働きかけることが、福
祉に携わる人々に問われて
いると考えます。
人「交」密度を上げて
いく時に、お茶っこのから
でも、出番づくりでも、
また、生きがいにはわず
かでも収入を生み出せる
「小商い」も大切かつ有効
であることから、これま
でバラバラに行われてき
たことを福祉に携わる人
が組み合わせていく・重
ねていくよう、皆さんに
お願いします。

※ご参考までに、同日会場でお示しした資料は、
下記からダウンロードしていただけます。
<http://blog.canpan.info/dede/archive/1183>





セミナーの様子 皆さん真剣です！

販売員は、普段は利用者さんたちの支援をしている施設職員です。利用者さんたちへの支援はプロですが、「販売」にあたっては手探りの部分もあり、色々と悩みを抱えている様です。作業や活動として商品は作っているのですが、それを「売る」ための方法で悩んでいる施設職員はとても多いそうです。みやぎセルプでは、そういった販売に関するお悩みに対して、「売上アップのための接客術」や経営力向上のための「経営改善会計・マイナンバーについて」

「販売する」ということ

ます」と格井さん。県内外での活躍が感じられました。

といった施設職員向けのセミナーも数多く開催しています。工賃のアップには、商品の質の向上はもちろんですが、施設職員のスキルアップが欠かせません。

県内外からさまざまな注文をいただいたり、福祉事業所から商品の感想や意見を求められることも多いのですが、みやぎセルプではその全てに対応し、また商品の感想には改善箇所など、率直な意見もお伝えし真摯に対応しているそうです。「投げかけられたことに関しては、タイムリーに伝えることを常に心がけています」と格井さん。一つ一つの事柄にタイムリーかつ誠実に応え、繋がりを大切にしていきたいからこそ、今があるのだとお二人は話されます。こういった取組みの裏には、商品や活動について福祉事業所の取組みや良さが一般の方々へ少しでも伝われば、という思いが感じられました。

東日本大震災後、県外からの問い合わせも増えたそうです。6年が経ち、今でも途絶えずに続いている繋がりにあるそうです。繋がりを大切にしたいみやぎセルプの活動がその絆を支えている

働く障害のある方々を応援したい、という熱い気持ちを抱き進むみやぎセルプの活動に今後目を見えま



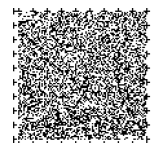
仙台駅での販売会は今後も行う予定とのことです。見かけたら是非立ち寄ってみてください！

☆みやぎセルプ協働受注センターからのお知らせ☆

「少量でオリジナル商品（ロゴやマークを入れる等）を作りたい」「詰合せのお菓子やお弁当を注文したい」「会社で使用するノベルティーになる商品を探している」「シーズンイベント商品が欲しい」など、注文数などの関係で一般企業では対応が難しいものなどについて柔軟な対応が可能です。まずはご相談を頂き、打合せを行いながらニーズに応じていきます。

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 みやぎセルプ協働受注センター
〒981-1102 宮城県仙台市太白区袋原五丁目12-1 仙台ワークキャンパス内
TEL 022-399-6299 FAX 022-306-2515
ホームページ <http://www.miyagi-selp.org/>



Heart & Works



働く障害者の工賃アップを目指して

～みやぎセルプ協働受注センター～

SELPIは、「SELF-HELP」の造語です。障害のある方、障害のない方が協力し合い、互いに助け合える社会を目指しています。



平成25年4月に障害者総合支援法が施行され、日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われることを法律の基本理念としています。障害のある方が職業を通じ、誇りを持って自立した生活を送ることができるよう、働く機会の拡大や収入の向上を目指していくことが、今、求められています。宮城県では、現在の就労継続支援B型事業所の平均工賃は、ひと月約1万8千円（平成27年度）ですが、これを2万3千円まで引き上げることを目標として掲げています。

今号では、障害のある方の工賃向上を目指し、県内外で多岐に亘り活躍するみやぎセルプ協働受注センター（以下みやぎセルプ）の格井さんと大久さんにお話を伺ってきました。

みやぎセルプ協働受注センターって？

障害のある方の生産活動に対する工賃の向上を目的とし、共同受注や販路拡大を目指す中間支援団体です。活動を始めて平成29年4月で16年目になりました。みやぎセルプが対象としている事業所は、地域活動支援センターや就労継続支援B型の事業所、生産活動をしている生活介護の事業所など障害のある方が働いている福祉事業所です。福祉事業所では工賃を上げたい、製品を売りたいという思いはあるものの、「販売」をするにあたりやるべきことや方法が分からない所が多い、とみやぎセルプでは感じているようです。

みやぎセルプでは一般の企業との中間支援のみならず、商品の品質向上や売り上げ促進などについて福祉事業所の相談に応えたり、企業から販売イベントの依頼を受けて企画・運営などを行っています。

一般の企業から商品の注文が1,000個あった場合、一つの福祉事業所では困難なため、それぞれの福祉事業所の得手不得のどと感じました。

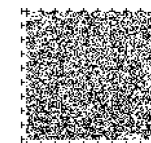
一つでも多くの製品を届けるために

福祉事業所などへ期待することを知ると、「利用者さんたちの支援以外に販売に関する知識も習得出来れば」と感じているそうです。例えば、目を引くラッピングの仕方や気持ちのいい接客など、他のお店の良いところに興味をもって取り入れてみるといったことを積み重ねていけば、更に販売力も向上できると考えています。「各所での販売イベントやセミナーにも、もっと多くの福祉事業所に参加してほしいです」と熱く語られるお二人の姿からは、福祉事業所の製品の魅力や可能性を信じているからこそ、もっと世の中に発信したいという気持ちを強く感じました。



藤崎のクリスマスフェアにも出店しています

手や規模に合わせることでA事業所に300個、B事業所には50個：といったように仕事の分配を行い、みんなで力を合わせて注文に応える仕組みづくりをしています。他にも、仙台七夕まつりや定禅寺ストリートジャズフェスティバルといったイベントへの参加や、商業施設の一画を利用した販売会、卒園式などのギフトセットの注文も受けたりしています。また、県内だけでなく、鹿児島や東京といった県外の企業からも注文を受け、県内の福祉事業所製品の販売や発送なども行っています。さまざまな企業との繋がりができ、「毎年伝票の数が増えています」



『経営理念』

宮城県社会福祉協議会は、本県における地域福祉推進の中核機関として市町村社会福祉協議会をはじめ、福祉諸団体、NPO法人、ボランティア等幅広い関係者との連携・協働のもと、高い公益性とともに民間法人としての自主性、創造性を発揮して『誰もが身近な地域で安心していきいきと暮らせる地域づくり』に取り組み、豊かな福祉社会の実現を目指します。

また、東日本大震災からの早期復興に向けて、継続的に支援を行います。

『経営方針』

- ① 被災地域の復興に向けた市町村協等と連携・協働による継続支援
- ② 地域住民が支え合う“まちづくり”の推進
- ③ 地域における福祉サービスの担い手の支援
- ④ 質の高い福祉サービスを支える体制の構築
- ⑤ 各種団体とのネットワークの強化
- ⑥ より信頼される法人を目指した運営基盤の強化



平成29年度事業の基本的な考え方

近年、少子高齢化や人口減少の進展、住民同士の繋がりの希薄化、経済困窮等の課題が顕著となり、住民のニーズは多様化・複雑化し、福祉サービスは横断的で柔軟な対応が望まれています。

このような現状を踏まえ、団塊の世代が75歳以上となる平成37年を以て、医療や介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みが進められています。

また、厚生労働省では、「我が事・丸ごと地域共生社会実現本部」を設置し、制度・分野ごとの関係を超えて、地域住民が「我が事」として参画し、人と資源が世代や分野を越えて「丸ごと」つながる共生社会の実現に向け、関係法令の改正をはじめ市町村における包括的な相談支援体制の整備が進められる予定であり、市町村等との連携・支援を行う必要があります。

さらに、本年4月には、改正社会福祉法が本格施行され、社会福祉法人における経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上等への取り組みや介護人材の確保に向けた取組みの必要性が増しております。

このように、被災地支援については、大震災から7年目を迎える現在においても約2万2千人（平成29年1月31日現在）の方々が応急仮設住宅等で生活される一方、平成27年度は約2万人の方々が災害公営住宅等での新しい生活に移行している等、コミュニティ構築支援等各ステージに応じた支援について被災地域の市町村協との連携により引き続き行う必要があります。

県社協では、これらの社会動向と平成25年策定の県社協地域福祉推進計画（以下「推進計画」という。）を基本に、市町村社会福祉協議会（以下「市町村社協」という。）をはじめ、福祉諸団体との一層の連携を図り、地域福祉の向上に努めます。

そうした中で、県社協の経営基盤の主要財源である国・県等の補助金・委託金が毎年減少傾向にあることから、限られた財源の効率的配分と自主事業等の充実を図るなど運営基盤の強化を図ります。

また、宮城県の指定管理者として受託している社会福祉施設をはじめ、設置施設・事業所等の適正な運営に努めます。

主な事務事業

大震災における被災地域の市町村協の支援をおおして、地域福祉推進の観点から被災住民等の自立・生活再建に努めます。

〔推進計画：基本目標1-1(2)(3)〕
35,310千円

① 被災地域市町村協への支援
被災地域市町村協が多様な課題を抱える被災者への支援と地域住民と融合した新たな街づくりに取組めるよう、個別ニーズに対応した支援を行います。

また、支援関係機関合同会議（震災復興定例支援会議、広域支援団体連携担当者会議等）を開催し、復興に関する課題等を共有して福祉活動を促進します。

② 地域コミュニティ構築支援
仮設から災害公営住宅への移行に伴う被災者及び地域住民の新しいコミュニティ構築・再生に向けて、被災地域市町村協が行う要支援者の見守り活動や助け合い活動の仕組みづくりなどの支援に取組みます。

③ 住民主体の「まちづくり」を進める市町村社協等との連携・協働を図り、地域福祉を推進します。

〔推進計画：基本目標1-1(2)(4)〕
85,611千円

④ 地域福祉活動の推進
地域福祉の活動を住民組織と共助で

効果的・効率的に実践するために「地域福祉活動計画」を策定する市町村社協の支援を行います。

地域福祉推進のため、市町村社協をはじめ宮城県民生委員児童委員協議会、各種別協議会・NPO等の関係福祉団体と連携し、新たな生活課題等の解決に取り組めます。

介護予防・日常生活支援総合事業等の円滑な実施に向けた市町村支援のプラットフォームとして、宮城県が設置する「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」の事務局運営業務を通じて、市町村が取り組む多様な生活支援ニーズに対するサービスの充実を支援します。

② 市町村社協の運営充実と社協間のネットワーク構築への支援

本会地域福祉推進計画に基づき、市町村社協とのネットワークにより、連携・協働を図りながら、各種事務事業を展開し、地域住民が支え合う安心・安全に暮らす地域社会の実現に向け、市町村社協職員の研修支援に取り組めます。

③ コミュニティソーシャルワーカーの育成
小地域福祉活動組織と関係機関や地域資源をつなぎ、コーディネートするための人材を育成するため、基礎研修や実践研修・事例検討会を実施し、社協及び地域福祉関係職員の資質の向上に取り組めます。

また、大規模災害等に備え、災害VC運営スタッフ養成研修や設置・運営中核者研修等により人材育成に努め、その体制整備を推進します。

④ 地域活動を推進・支援する人材の育成
地域福祉活動推進者、ボランティアコーディネーター等の育成のための研修とスキルアップ研修等を実施すると

て、宮城県社会福祉大会、社協フォーラム、各種研修会の開催や広報誌「福祉みやぎ」の発行、ホームページ等により幅広く発信し普及啓発に努めます。

⑤ 県社協地域福祉推進計画の策定
計画的・総合的に地域福祉の推進を図るため、地域福祉活動の基本となる地域福祉推進計画が、今年度で計画期間終了することから、平成30年度から平成34年度までの推進計画を策定します。

⑥ 多様なボランティア・市民活動が地域でいきいきと展開できるように支援します。

〔推進計画：基本目標2-1(1)(2)(3)〕
116,829千円

多様なボランティア・市民活動が地域でいきいきと展開できるように支援します。

〔推進計画：基本目標2-1(1)(2)(3)〕
116,829千円

① 多様なボランティア活動や市民活動に対する支援の強化
社協ボランティアセンター（以下「社協VC」という。）機能の充実に取り組む市町村社協を対象に担当者情報共有会議の開催や市町村社協VC運営に関する現地相談などの支援を行います。

また、大規模災害等に備え、災害VC運営スタッフ養成研修や設置・運営中核者研修等により人材育成に努め、その体制整備を推進します。

② 地域活動を推進・支援する人材の育成
地域福祉活動推進者、ボランティアコーディネーター等の育成のための研修とスキルアップ研修等を実施すると

ともにボランティア団体・中間支援組織等との連絡会を開催するなど、住民主体の地域活動を推進できる人材の育成に努めます。

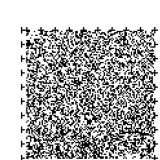
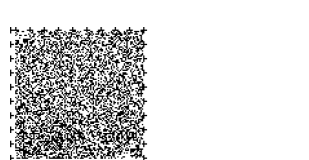
③ 小地域福祉活動の充実
高齢者を対象とした宮城いきいき学園5校の運営をおおして地域貢献活動へ参画できる人材育成に努めます。

④ 元気高齢者への社会参加の支援
高齢者のスポーツや文化活動をとおりして生きがいや健康づくりを促進するため、高齢者のスポーツ・文化の祭典である第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田2017）への選手派遣や宮城シニア美術展を開催します。

⑤ 質の高い福祉サービスを支える専門性を備えた人材育成・確保を図ります。

〔推進計画：基本目標3-1(1)(2)(3)〕
781,857千円

⑥ 福祉人材の専門性を高める研修や資格取得のための研修の企画及び実施
福祉・介護人材の専門性を高めるため介護支援専門員研修、社会福祉従事者研修、資格取得研修等を実施し、スキルアップに努め福祉施設及び事業所等が提供する福祉サービスの向上を図ります。



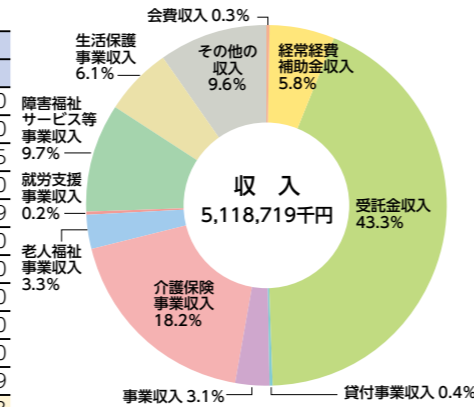
平成29年度当初予算

一般会計

○収入の部

【単位：千円】

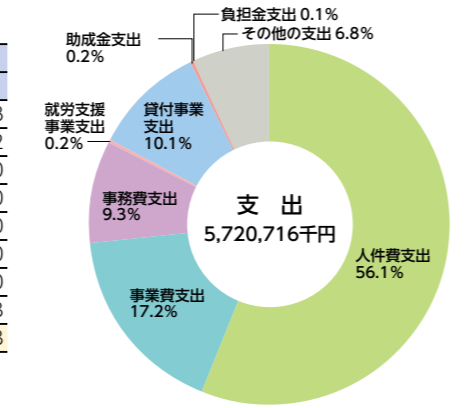
科目	一般会計			
	合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業
会費収入	16,066	9,036	7,030	0
経常経費補助金収入	298,872	284,135	14,737	0
受託金収入	2,216,086	2,006,254	209,637	195
貸付事業収入	18,266	0	18,266	0
事業収入	157,187	118,481	11,537	27,169
介護保険事業収入	934,412	934,412	0	0
老人福祉事業収入	169,077	169,077	0	0
就労支援事業収入	9,062	9,062	0	0
障害福祉サービス等事業収入	495,852	495,423	429	0
生活保護事業収入	310,247	310,247	0	0
その他の収入	493,592	487,164	5,329	1,099
合計	5,118,719	4,823,291	266,965	28,463



○支出の部

【単位：千円】

科目	一般会計			
	合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業
人件費支出	3,212,051	3,047,259	162,744	2,048
事業費支出	984,451	915,983	53,356	15,112
事務費支出	531,249	498,878	32,371	0
就労支援事業支出	9,062	9,062	0	0
貸付事業支出	578,200	0	578,200	0
助成金支出	11,300	11,050	250	0
負担金支出	8,390	1,583	6,807	0
その他の支出	386,013	366,084	8,626	11,303
合計	5,720,716	4,849,899	842,354	28,463

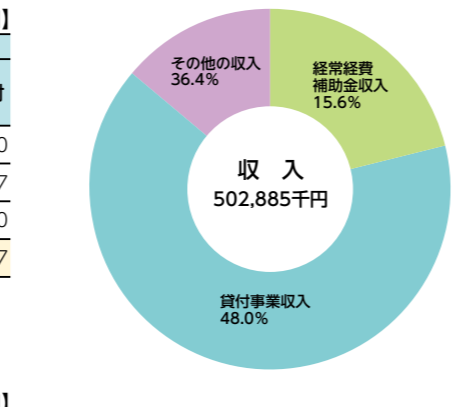


生活福祉資金会計

○収入の部

【単位：千円】

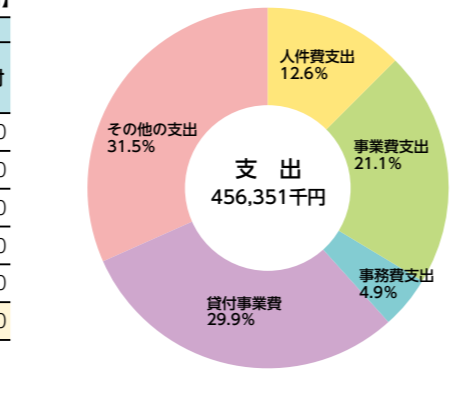
科目	生活福祉資金会計				
	合計	生活福祉資金特別会計	生活福祉資金事務費会計	要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金特別会計	臨時特例つなぎ資金貸付事業特別会計
経常経費補助金収入	78,388	0	78,388	0	0
貸付事業収入	241,284	241,207	0	0	77
その他の収入	183,213	50,470	114,841	17,902	0
合計	502,885	291,677	193,229	17,902	77



○支出の部

【単位：千円】

科目	生活福祉資金会計				
	合計	生活福祉資金特別会計	生活福祉資金事務費会計	要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金特別会計	臨時特例つなぎ資金貸付事業特別会計
人件費支出	57,606	0	57,606	0	0
事業費支出	96,384	0	96,384	0	0
事務費支出	22,111	0	22,111	0	0
貸付事業支出	136,652	113,338	0	22,114	1,200
その他の支出	143,598	138,593	5,005	0	0
合計	456,351	251,931	181,106	22,114	1,200



5 県民の福祉ニーズに即したサービスを提供し、住民やサービス利用者が安心して暮らせる地域づくりを推進します。
 〔推進計画：基本目標4-1(1)(2)(3)(4) 472,027千円〕

(1) 県社協が運営する施設及び事業所の適正な運営
 トップマネジメントをはじめ、県社協の地域福祉サービスセンターにおける事業評価及びPDCAサイクルを活用した事業進行管理を行います。また、サービスの質の向上を図るため「福祉サービス第三者評価」の定期的な受審や危機管理の対応及び災害・防犯対策の強化に努めます。

(2) 福祉サービス利用の専門相談の充実
 総合相談センターでは高齢者及びその家族が抱える法律・医療・保健福祉の専門的相談に迅速に対応します。市町村等の相談機関と連携・協力し、高齢者及びその家族等県民の福祉向上と増進を図ります。

(3) 権利擁護の推進
 日常生活自立支援事業（まもりーぶ事業）をとおして認知症高齢者や障害者等で判断能力が不十分な方に対し、そのニーズに即した福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理援助等を行い、地域で安心して暮らせるよう自立支援を行います。

また、その債務管理は償還計画に基づき適正に償還されるよう関係機関と連携のうえ支援を行います。中国帰国者支援・交流センターの運営（日本語学習支援・生活相談・就労支援・地域支援交流等）をとおして中国帰国者が地域で安心して暮らすことができるよう自立支援を行います。

高齢者の一人暮らしの増加・障害者の自立と社会参加などの福祉ニーズの高まりの中、身近な市町村社協や関係機関との連携のもと、住み慣れた地域において自立した生活を送れるよう支援するとともに、事業推進の効果的な実施と地域に密着した住民へのサービス提供の体制整備を推進して行きます。

(4) セーフティネット機能の充実・強化
 経済的困窮者や低所得世帯に対しては、市町村社協や民生委員・児童委員による相談支援を基盤とし、生活実態を把握するとともに、その世帯に即した生活福祉資金の貸付けによる自立支援に努めます。

また、運営適正化委員会では福祉サービスを利用する方々からの相談や苦情の解決に努めます。その他、事業者及び第三者委員を対象に研修会の開催や苦情解決制度の周知を図るため、広報・啓発活動を推進します。

また、限られた補助金、委託費等の効率的配分や基金の確かな運用を図り運営基盤の強化に努めます。

また、限られた補助金、委託費等の効率的配分や基金の確かな運用を図り運営基盤の強化に努めます。

6 各種団体及び社会福祉法人が実施する福祉活動を支援・協働します。
 〔推進計画：基本目標5-1(1) 2,915千円〕

(1) 各種団体との連携・協働
 種別を超えた懇談会の開催や定期訪問・研修・セミナー等を実施し、必要に応じて種別協議会の共通課題等を国・県・全社協等への要望や提言を取りまとめ提出します。

(2) 災害福祉広域支援ネットワークの構築
 災害時における要援護者並びに被災施設支援に関する「災害福祉広域支援ネットワーク」協議会等の支援体制設立を関係者間で進め、福祉関係者自治体が連携し、避難所・福祉避難所への「福祉職員」のチーム派遣等の仕組みづくりに努めます。

7 より信頼される法人を目指し、運営基盤の強化を図ります。
 〔推進計画：基本目標6-1(1) 4,110,608千円〕

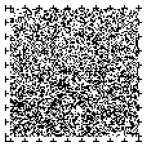
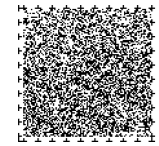
(1) 運営基盤の強化
 コンプライアンス（法令遵守）を基本に事務事業の進捗状況を把握し、計画的な予算の執行、基金の運用、資金の確保など財務管理と不祥事防止など運営上のリスク管理の徹底を図り健全な法人運営に努めます。

また、限られた補助金、委託費等の効率的配分や基金の確かな運用を図り運営基盤の強化に努めます。

(2) 職員一人一人のスキルアップと研修体制の強化
 県社協職員研修規程に基づき、人材育成研修システムの実践により職員一人一人のスキルアップに努めます。また、組織全体として専門職員研修や職員自主企画事業の推進から、専門性の高い福祉人材の育成に努めます。

(3) 社会福祉施設等の適正な運営
 指定管理者施設及び設置施設・事業所等の運営にあたっては、高齢者や障害児（者）等に施設入所支援をはじめ、生活介護・通所介護・相談事業等とおして、地域で自立した生活が送れるよう適正な運営に努めます。

(4) 社会福祉法改正への対応
 社会福祉法の改正に伴い、会計監査人設置による財務規律及び法人組織のガバナンスの強化、計算関係書類、現況報告書の公表による事業運営の透明性の向上に努めます。





温かい真心をありがとうございます

下記の方々から、本会に寄付金をいただきました。温かい真心に感謝申し上げます。(平成29年4月5日現在)

- 平成29年3月13日 株式会社ブリッジさまより
社会福祉事業のために
..... 56,036円
- 平成29年4月4日 株式会社ブリッジさまより
社会福祉事業のために
..... 63,840円

宮城県社会福祉協議会 役員・評議員変更のお知らせ

- 退任**(平成29年3月31日付)
退任 平成28年12月31日付
理事退任 遠藤敏榮
平成29年 3月31日付
理事退任 近藤 義次 中山 晴久 白石 雅一
評議員退任 高橋 喜一 竹野 晃平 蘇武 徳典 佐久間 祥平
神部 光 阿部 康志 尾本 満雄 伊勢田 晋
西条 孝明 阿部 裕二 伊勢 功 宮崎 克子
- 就任**(平成29年4月1日付)
理事就任 黒沼 篤司
評議員就任 小林 秀文 白石 雅一

福祉の仕事移動相談会の実施について

福祉人材センターでは、県内9か所のハローワークに出向き「福祉の仕事」に関する相談をお受けしています。「福祉の仕事ってどんなことをするの?」「未経験者でも就労出来るでしょうか?」「資格はどうすればとれる?」など、どんなことでも構いません。お気軽にご相談ください。
※日程は宮城県社会福祉協議会HP、福祉人材センター「イベント案内・福祉のしごと移動相談日程」でご確認いただけます。

実施場所	月・曜日	時間
ハローワーク気仙沼	奇数月 第4木曜日	13時～15時
ハローワーク築館	偶数月 第1月曜日	13時～15時
ハローワーク大和	偶数月 第3月曜日	13時～15時
ハローワーク古川	毎月 第2金曜日	13時半～15時半
ハローワーク迫	毎月 第2火曜日	13時～15時
ハローワーク石巻	毎月 第3木曜日	13時～15時
ハローワーク塩釜	毎月 第1火曜日	13時～15時
ハローワーク大河原	毎月 第4火曜日	13時～15時
ハローワーク白石	毎月 第3火曜日	10時～12時

ご高齢の方とご家族の方々がかかえる心配ごと・悩みごとなどの相談をお受けしています

ご相談は無料です。
お気軽にご相談ください。

電話番号
022-223-1165(いい老後)
※プライバシーに関わる秘密は固く守ります。
※法律・医療の相談は面談相談ですが、来所できない場合は電話での相談も可能です。
【休館日】 土・日曜日・祝祭日・年末年始

相談種別	相談員	相談内容	相談日時
相談受付	センター相談員	相談の予約受付 情報提供	月曜日～金曜日 9時～17時
法律相談 ※要予約	弁護士	財産、相続、遺言、離婚、金銭貸借契約トラブル、人権問題(DV・虐待) 成年後見制度、その他	(偶数月) 第1・第2・第3金曜日 (奇数月) 第1・第2金曜日 13時半～15時半
医療相談 ※要予約	精神科医	認知症、うつ、心の悩み、人間関係 将来への不安など	第4木曜日 13時半～15時半
保健・ 介護相談	保健師 など	健康管理、保健衛生、家庭介護 福祉サービス、その他	月曜日～金曜日 9時～17時

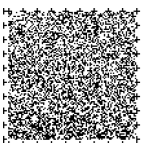
会員の募集について

本会では活動の趣旨に賛同いただき、地域福祉の推進にご協力いただける団体または個人の会員を募集しています。

【会員区分】

- 第二種会員(社会福祉施設)
- 第三種施設(社会福祉関係団体)
- 賛助会員(団体及び個人、一口1万円から受け付けています)

◆お問い合わせ 宮城県社会福祉協議会 企画・財務課
◆TEL 022(263)0949



キラリ☆仕事人

このコーナーでは福祉の職場で働くキラリ☆と光る人を紹介します



今号では、
医療法人仁泉会
介護老人保健施設なとり
で働く、大内義隆さんに
お話を伺いました。

現在のお仕事について教えてください

介護老人保健施設なとりのリハビリテーション科の科長をしています。施設の入所者や通所リハビリテーション(以下リハビリ)の利用者への支援、訪問リハビリの管理などを行っています。平成27年度の介護報酬改定では「活動と参加に焦点を当てたりリハビリテーション」が推進され、施設としても私自身としても力を入れて取り組んでいます。リハビリという、ストレッチや段差の昇降など機能的訓練をイメージする方が多いと思いますが、作業療法士(以下OT)が行うリハビリは心身機能面への訓練に加え、生活に根付き活



▲実際のバスを使ったリハビリの様子

き添い、指導することで、ご本人もご家族も安心して外出のやり方を確認し、少しずつ自分たちだけで出来るようになるお手伝いをしています。また、社会資源を交えての活動も行っています。近くの宮城交通さんの営

せるような支援をバランス良く行っていきます。
「生活に根付く」とは
どのような支援ですか
例えば在宅復帰を目標に掲げた場合、自宅での生活に必要なトイレや入浴などの日常的な動作訓練に加え、自宅に伺いご家族への介護指導や環境調整も行います。また、必要に応じてご本人・ご家族と一緒に外出し、買い物などを楽しむ機会を設けたりもします。車に乗るときにどこを掴み、どこに足をかけて乗るかといった具体的な困りごとに対し、OTが専門職として付

やりがいや大変なところは
どんなところですか

利用者さんに喜んでいただいたときはやりがいを感じます。利用者さんとの一対一での直接的な関わりはもちろんです。リハビリにおけるさまざまな仕組みを作っていく中で、利用者さんやご家族から喜びの声をいただいたときはとても嬉しいです。私自身、OTとして「その人がその人らしく生活していただけるような支援をしたい」と思っています。そのためには、いろいろな方の協力が不可欠です。施設の職員はもちろん、ご家族や外部の関係者の力も必要です。チームとして思いを共有しながら支援し、その方の生活が広がったときが一番喜びを感じる瞬間です。その反面、関わっている方全員が同じ方向を向いて支援することが難しいときもあり、チームとして支援を行う大変さも感じています。

業所で待機中のバスを使って乗り降りの練習をさせていただいたり、他にも介護タクシーの事業所にもご協力いただき、介護タクシーのお試し利用などを行っています。
リハビリを施設の中だけで完結させず、社会や家族との結びつきを意識しています。体のことだけではなく、人や社会との繋がりを考えなければその人が望む生活の実現は難しいと思います。ですから、OTという枠に囚われず、自分がやれることは幅広く関わっていきたくと思っています。

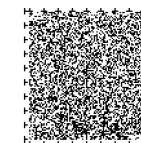
介護老人保健施設なとり

介護老人保健施設なとりは、仙台の南、名取市に1995年に開設されました。仙台の街並みや、遠く太平洋が見渡せる丘の中腹に位置しています。在宅復帰に力を入れている「老健施設(入所)」、日中通いリハビリテーションを行う「通所リハビリテーション」、介護に関する相談全般を受ける「地域包括支援センター・居宅介護支援事業所」、安全で安心して住まう「グループホーム」で構成されています。利用者様に対し、「心からの暖かいおもてなし」で接し、地域社会の人々の幸せに貢献します。

お問い合わせ先 〒981-1241 宮城県名取市高館熊野堂字岩口下1-2
電話番号 022-386-3770 FAX 022-386-3788

作業療法士を目指す
方にメッセージを
お願ひします

OTは応用動作や社会適応というところに主として関わるリハビリ職です。利用者さんが生活の中で出来る事が増えていく瞬間に立ち会ったり、一緒に喜びを共有したりできる立場にあり、とてもやりがいのある仕事です。



宮城県社会福祉協議会の連絡先一覧



名称		電話番号	FAX 番号	住所	
総務部	総務課	総務係 職員係	022 (268) 5139	〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 1-2-3 宮城県自治会館 3F	
	企画・財務課	企画係			022 (263) 4744
		財務係			022 (263) 0949
	施設管理課	施設管理係			022 (263) 4744
法人事務局 震災復興・地域福祉部	地域福祉課	地域福祉推進係	022 (266) 3950	〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 1-2-3 宮城県自治会館 4F	
		みやぎボランティア 総合センター	022 (266) 3951		
	震災復興支援室		022 (266) 3952	〒 980-0014 仙台市青葉区本町 3-7-4 宮城県社会福祉会館 2F	
	宮城県地域支え合い・ 生活支援推進連絡会議事務局		022 (226) 2621		
	生活支援課	生活資金貸付係	022 (225) 8478		
		生活資金管理係	022 (216) 5100		
	総合相談課	みやぎ地域福祉 サポートセンター	022 (212) 3388	〒 980-0014 仙台市青葉区本町 3-7-4 宮城県社会福祉会館 1F	
		総合相談センター	022 (290) 1210 (相談)022(223)1165		
		宮城県福祉人材 センター	022 (262) 9777		
	中国帰国者支援・交流センター		022 (263) 0948	022 (217) 9388	
人材育成部	研修課	福祉研修係	022 (216) 5382	〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 1-2-3 宮城県自治会館 3F	
		職員研修係	022 (225) 8479		
	いきがい健康課	宮城いきいき学園	022 (225) 8477		
		宮城いきいき 高齢者センター	022 (223) 1171		
障害者支援施設 宮城県船形コロニー		022 (345) 3282	022 (345) 3984	〒 981-3625 黒川郡大和町吉田字上童子沢 21	
県北地域福祉サービスセンター					
障害福祉サービス事業所 宮城県援護寮		0229 (23) 1513	0229 (23) 1562	〒 989-6117 大崎市古川旭 5-7-21	
地域支援センターほほえみ		0229 (21) 0266	0229 (21) 0272	〒 989-6162 大崎市古川駅前大通 1-5-18 ふるさとプラザ 2F	
障害者就業 生活支援センター Link		0229 (21) 7466			
仙台北地域福祉サービスセンター					
在宅心身障害者保養施設 セツ森希望の家		022 (345) 3701	022 (345) 3701	〒 981-3625 黒川郡大和町吉田字上童子沢 21	
地域支援センターぱれっと		022 (344) 3596	022 (344) 3595	〒 981-3621	
ぱれっとよしおか		022 (344) 3620	022 (344) 3595	黒川郡大和町吉岡字南金谷下 8-7	
障害者就業 生活支援センターわ〜く		022 (353) 5505	022 (353) 5506	〒 983-0014 仙台市宮城野区高砂 1-154-10	
吉岡すまいる		022 (345) 1910	022 (345) 1913	〒 981-3621 黒川郡大和町吉岡字石神沢 30-2	
県中央地域福祉サービスセンター					
福祉型障害児入所施設 宮城県啓佑学園		022 (379) 5001	022 (379) 5010	〒 981-3213 仙台市泉区南中山 5-2-1	
障害者支援施設 宮城県第二啓佑学園					
発達障害者支援センター「えくぼ」		022 (376) 5306	022 (343) 6905	〒 981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘 4-31-22	
地域支援センターしんぼし		022 (343) 6904			
介護研修施設 宮城県介護研修センター		0229 (56) 9608	0229 (56) 9763	〒 989-4103 大崎市鹿島台平渡字上敷 19-7	
なごみなの里地域福祉サービスセンター					
特別養護老人ホーム 和風園		022 (346) 2229	022 (346) 2305	〒 981-3623 黒川郡大和町小野字前沢 1	
養護老人ホーム 偕楽園		022 (346) 2221	022 (346) 2222	〒 981-3623	
地域支援センターなごみな		022 (341) 0220	022 (341) 0233	黒川郡大和町小野字前沢 31-1	
仙山西地域福祉サービスセンター					
救護施設 太白荘		022 (245) 3721	022 (245) 3722	〒 982-0215 仙台市太白区旗立 2-3-1	
地域支援センターはたたて					
ぱっれとさとのもり		0223 (29) 4989 (相談)0223(24)1712	0223 (25) 4590	〒 989-2432 岩沼市中央 2-5-26	
福祉サービス利用に関する運営適正化委員会		022 (716) 9674	022 (716) 9298	〒 980-0014 仙台市青葉区本町 3-7-4 宮城県社会福祉会館 4F	

「福祉みやぎ」は宮城県社協のホームページでもご覧になれます。また、ご意見、ご感想、とりあげて欲しいテーマなどをお寄せください。表紙の作品も募集しています。

